

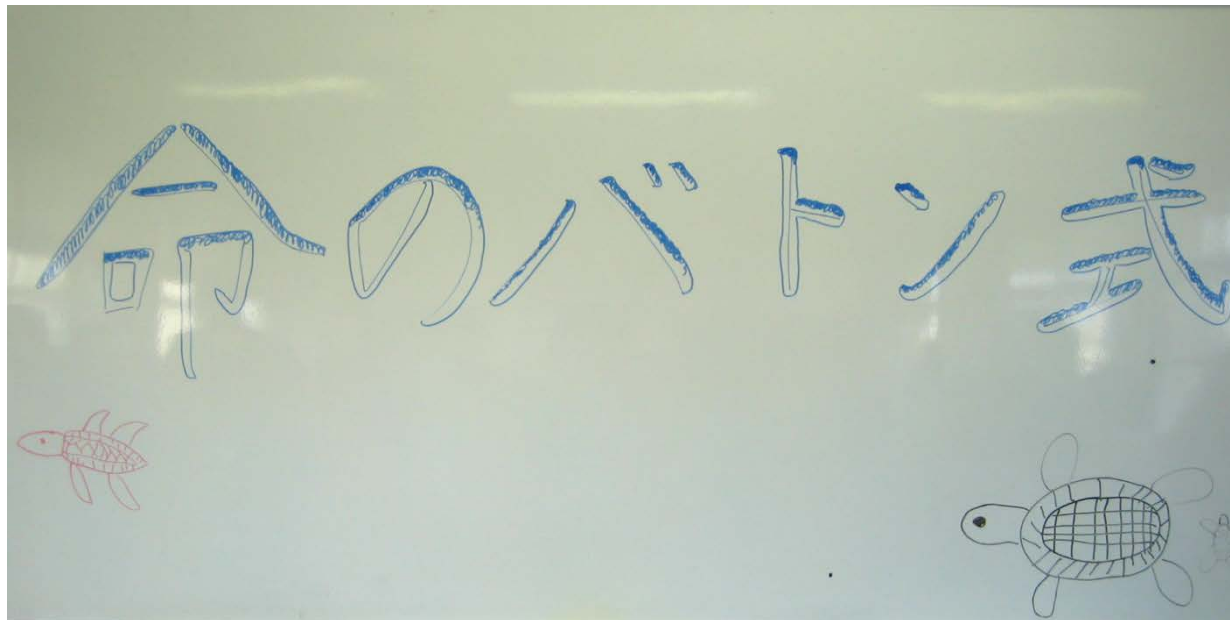
命のバトン式

高知市立春野西小学校

平成30年2月20日（火）

夏の終わりにふ化したアカウミガメを、許可を得て春野西小学校の4年生が大切に飼育してきました。

子ガメのお世話を3年生に引き継ぐ「命のバトン式」が行われました。



生まれたばかりの子ガメたち



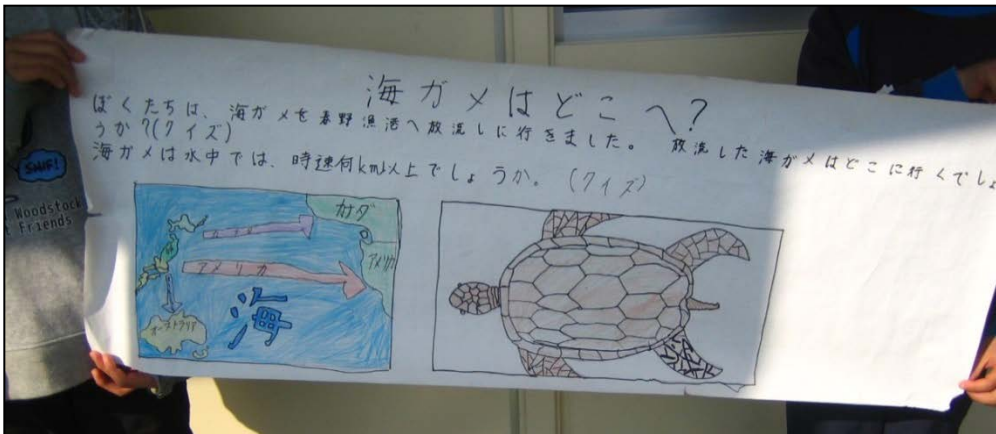
半年後

甲羅も厚くなり大きくなりました



▼まずはじめに、ウミガメについて4年生が学習・体験してきたことを発表します。カラフルなイラストや写真を使ったり、大きな字で見やすくするなど工夫して、みなさんとてもきれいに作っていました。

3年生も4年生の発表を真剣に聞いています。





▼発表の中にはクイズもありました。正解すると、「やった！」と一斉に声が上がります。発表のあと、3年生から色々な質問が出ました。

「ウミガメの卵は種類によって色が違いますか?」「なぜアカウミガメは赤いのですか?」



▼4年生がわからなかった質問は、熊沢さんが教えてくれました。

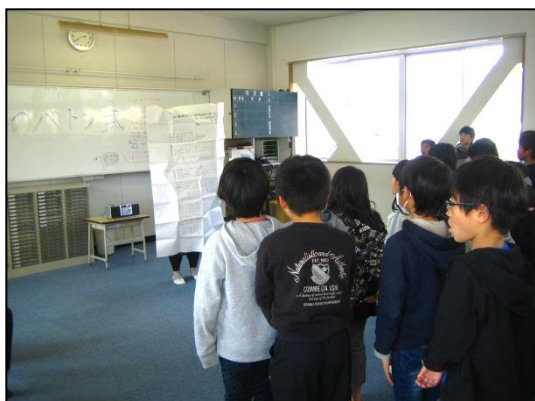
「ウミガメの卵の色は変わりません。大きさはそれぞれ違うけれど、ほぼ白っぽい色をしています。」

▼採卵会で実際に見て確かめるのが今から楽しみです。

▼矢野校長先生より4年生へ感謝状、3年生に任命証が渡されました。



▼ウミガメのお世話を引き継ぐ「ウミガメバトン」のあとは、「ふるさと～いのちのバトン～」を歌います。3年生も4年生も、大きな声で元気よく歌ってくれました。



熊沢佳範さんより

「春になったら、ウミガメ学習会があります。その時、聞きたいことをたくさん用意しておいてください。楽しみにしています。」

▼最後に熊沢さんにお礼をして、命のバトン式は終わりました。
4年生のみなさん、ウミガメのお世話をお疲れさまでした。
3年生のみなさん、これから海に帰すまでお世話を頑張ってください。